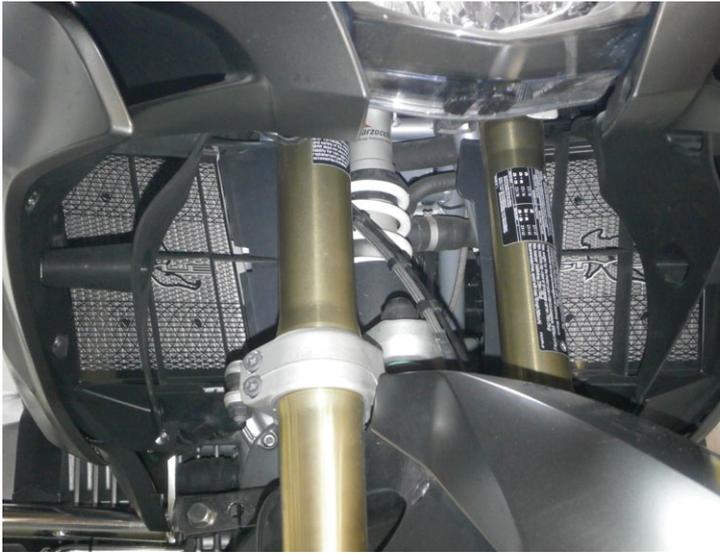


R-style Radiator Core Guard

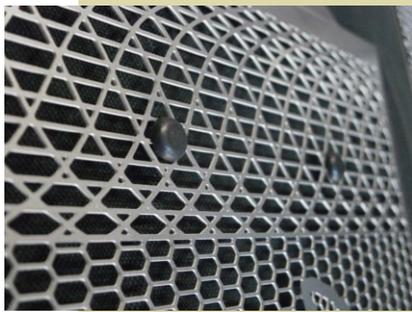


”冷却効率”と”防御性能”という相反するテーマをいかにして両立させるか。

フロントタイヤから巻き上げられた小石やゴミ、ライトめがけて飛んでくる昆虫…etc、これらはアルミのフィンでできているラジエーターコアへダメージを与えます。フィンが潰されることによって冷却効果が失われ、場合によってはウォーターラインを破損しクーラント漏れを起こす危険も…。

R-styleのラジエーターコアガードは、ラジエーターに対して最も過酷とも言える耐久ロードレースを中心に幾度となくテストを繰り返してきました。メッシュパターンの配置、メッシュラインの太さ、そして開孔率はレースからのフィードバックがぎっしりと詰まっています。

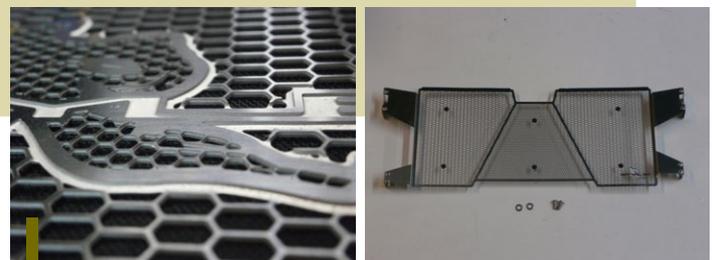
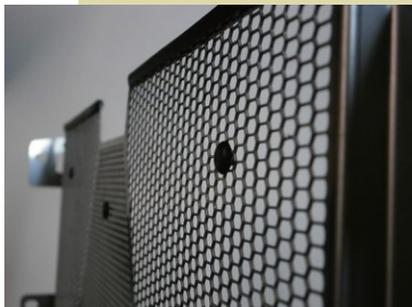
- 中央部分は細かく、その上下は、デザイン性の非常に高い、2次曲線を使った異形メッシュパターン。これはフロントタイヤからスピloffされた小石やゴミをタイヤ幅に合わせた中央部の細かいメッシュが確実にガード。上下の粗いメッシュは”冷却効率”と”防御性能”という相反するテーマの両立を考慮された開孔率になっています。
- 材質の選択にも理由があります。アルミやチタンの場合、板厚を下げる(強度を下げる)ことでしか実現できないメッシュライン幅を、ステンレス(SUS304 0.8t)を採用することにより理想のライン幅で強度を下げずに実現。
- 合計8か所ものポイントに、高耐熱ウレタンラバープロジェクションを配置。



繊細なアルミ製ラジエーターコアと、コアガードとのクリアランスを最適に保つ事により、高い冷却性能と、「スペースドアーマー効果」を獲得。防御性能を異次元のモノへと昇華しました。

これらを踏まえたコアガードには、性能の維持するためのアイテムとしてだけでなく、さりげなく美しさをアピールするドレスアップ効果も兼ね備えました。守る、魅せる。あなたの大切なマシンの為に、自信を持っておすすめ致します。

「スペースドアーマー効果」とは、第二次世界大戦中のドイツの、「IV号戦車」にも採用された、装甲と装甲の間に空間を設け、飛躍的に防弾性能を向上した「スペースドアーマー」を、「高耐熱ウレタンラバープロジェクション」を計8か所も装備する事によって応用した、冷却性能と対防御性能を飛躍的に高めた手法である。



ロゴマークは、「ハーフエッチング法」という手法を用い、立体的に浮き出る様に演出。防御性能、冷却性能以外にも、随所に光るこだわり。

車種別ラインナップ

- BMW R1200RT LC
- BMW R1200RS LC



詳細はコチラをクリックし、ご希望の車種を選択してください